

## VENUS 投稿上の注意

原稿は正確・明確・簡潔に書き、投稿の際には以下の事項を守って下さい。また、体裁などについて、オンライン公開されている最新号に掲載されている関連論文を参照することを強くお勧めします。これは編集労力の軽減や印刷経費等の節減につながります。

### 原稿の作成：

言語は英語もしくは日本語とする。原稿は、1) 本文はMS Wordもしくはリッチテキスト形式で保存し、2) 図表はまとめてPDFファイルとするか、あるいは本文ファイルの末尾に貼り付けた形として投稿する（サイズはファイルあたり5メガバイト以下）。図は査読に支障をきたさない程度に圧縮すること。

英文原稿の体裁：A4判の用紙にデフォルト（上下左右約3cm）の余白をとり、行間は1.5行とする。構成は原則としてTitle page, Abstract, Keywords, Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Acknowledgements, References, 日本語のタイトル・著者名・要約、英語による図の説明（Figure legends）の順。ただし短報や分類学の論文などの特殊な構成を持つものはこの限りでない。なお、英文は投稿前に英語を母国語とする人あるいは専門業者に校閲してもらうこと。

和文原稿の体裁：印刷の形式はA4判の用紙に1行40字。原稿の構成はタイトルページ、Abstract（英語）、キーワード、緒言、材料および方法、結果、考察、謝辞、引用文献、図の説明（英語と日本語併記）の順。

いずれの場合も、テキストにはページ番号と通しの行番号を振る。

### 活字の書体：

英文フォントはTimes New Roman、和文フォントはMS明朝、いずれも12ポイントを使用。動植物の学名（属名、種小名）やラテン語の略号（*et al.*, *etc.* など）はイタリック体とする。統計量や変数等も原則としてイタリック体とする（ただしSD, SEなどはイタリック体としない）。引用文献も後述する指示に従って、書体の指定をする。人名に

は小型英大文字（スモールキャピタル）を用いない（KURODAでなくKurodaとする）。その他の活字指定は編集委員に一任のこと。

### タイトルページ（Title page）：

タイトルページには論文の表題、著者名と所属機関および住所（英文原稿の場合は英語のみ、和文の場合は日本語と英語の両方）、代表著者の電子メールアドレス、英文の上欄見出し（Running title）を記す。上欄見出しは、内容が判るように10語以内で記す。

論文の表題は研究の分野、対象、地域等の主題が判るように明瞭簡潔に。表題中の学名には分類学等の論文で特に必要な場合以外、命名者、年号は不要。

著者名の下に所属機関および連絡先を、日本語の場合は丸括弧で囲んだ中に、英語の場合はイタリックで書く。複数の著者が別機関に所属する場合、上付き番号で各人の名前と所属機関とをはっきり対応させる。また脚注に責任著者（Corresponding author）のメールアドレスを記す。

### 英文要約（Abstract）：

Abstractは200語以内で作成し、論文の最初（タイトルページの次）に置く。Abstractでは本文中の図表の引用や文献の引用をしない。英文原稿の場合、Abstractと別に刷り上り1ページ以内の和文の要約を作成し、引用文献（References）の後に置く。和文の要約は本誌の性格上、特に分類学関係については一般学術誌よりいく分詳しくすることが望ましい。

Abstractに続けて“Keywords:”として原稿の内容を的確に表現する英語で5語内外を挙げる。熟語のような長いものは望ましくない。

### 本文：

論文中での文献の引用は、（Kuroda, 1950; Habe, 1952）、黒田（1950）のようにする。英文では著者が2名の場合はandではなく&を用いる。長大な文献からの引用で、特定の引用箇所（ページや図の番号）を示したい時は、コロンの用いて黒田

(1950: 106) や (Habe, 1952: pl. 1, fig. 8) のようにする。

日本の地名は英文の場合、外国の読者にも判るように緯度経度を入れるか、少なくとも northeastern area of Honshu や western coast of Kyushu などの大地名を入れる。

謝辞は、英文の場合は論文の最後に Acknowledgements の見出しを付けて記述する。和文の場合は“緒言”の最終節に入れても、論文の終わりに入れても差し支えない。

### 引用文献 (References) :

掲載する文献は本文に引用のあるものだけに限り、また本文で引用した文献はもれなく掲載しなければならない。投稿の前に引用文献の過不足がないかよくチェックすること。引用の形式は本誌最新号の例も参照のこと。

著者の配列は姓のアルファベット順とし、同一著者の中は発表年順。引用文献の中では原則として著者が何人いても省略せず、英文の場合は A, B, C & D などとし、和文の場合は A・B・C・D とする。ただし、著者が 10 人を超える場合は最初の 5 人 + *et al.* とする。同じ著者の論文が続いても著者名を一で省略しないで書き、また出典等も同上誌 (*ibid.*) と略さない。雑誌名はイタリックとし、*Bull. Natl. Mus. Nat. Sci.* のように省略せず、*Bulletin of the National Museum of Nature and Science* のようにスペル・アウトする。雑誌の巻はボールドとせず、号は省略する。ただし、巻がなく通し号のみしかない雑誌や、巻の中で号ごとに 1 ページからはじまる雑誌の号数は括弧に入れる。文献にページのない図版 (pl.) がある時は、その数をページのあとに書く。ピリオドやカンマの書式については下の例を参照のこと。

Kuroda, T. & Habe, T. 1954. New genera of Japanese marine gastropods. *Venus (Japanese Journal of Malacology)* 8: 84–97.

波部忠重. 1977. 伊豆諸島の陸産貝類相とその生物地理学的意義. 国立科学博物館専報 (10): 77–82, pls 11–12.

単行本の場合は引用したページだけではなく、本全体の情報を引用文献リストに掲載する。ただし、各章によって著者が異なる場合はその章を引用し、和文では *In*: 某 (編)、英文では *In*: A & B

(eds) のようにして全体も記す。英文の場合、書名はイタリックで単語の頭文字は大文字。例:

Habe, T. 1977. *Systematics of Mollusca in Japan. Bivalvia and Scaphopoda*. xiii + 372 pp. Zukan-no-Hokuryukan, Tokyo.

波部忠重. 1977. 日本産軟体動物分類学, 二枚貝綱/掘足綱. xiii + 372 pp. 図鑑の北隆館, 東京.

Morton, B., Prezant, R. S. & Wilson, B. 1998. Class Bivalvia. *In*: Beesley, P. L., Ross, G. J. B. & Wells, A. (eds), *Mollusca: The Southern Synthesis. Fauna of Australia. Vol. 5, part A*, pp. 605–638. CSIRO Publishing, Melbourne. (章ごとに著者が異なる場合; 下も同様)

波部忠重・濱谷 巖・奥谷喬司. 1994. 分類. *In*: 波部忠重・奥谷喬司・西脇三郎 (編), 軟体動物概説, 上巻, pp. 3–133. サイエンティスト社, 東京.

オンライン上の出版物はリスト表記の最後に URL を記す。また、雑誌でデジタルオブジェクト識別子 (DOI) が付与されているものは DOI を付記する。

宇野 明・谷岡 浩. 2012. イシマキガイ. *In*: 鳥取県生物学会 (編) レッドデータブックとっとり改訂版 — 鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物 —. p. 146. 鳥取県生活環境部公園自然課, 鳥取. <http://www.pref.tottori.lg.jp/secure/704255/7-1.pdf>

Wada, S. & Chiba, S. 2013. The dual protection of a micro land snail against a micro predatory snail. *PLoS ONE* 8(1): e54123. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0054123>

Web ページを参照した場合、原則として引用文献リストには含めず、本文中でページタイトル、掲載責任者名、URL、閲覧した日付を記す。ただし、引用のフォーマットが明瞭に示されている場合は、引用文献とすることも可能。例:

MolluscaBase. 2020. *Chrystellla* Laseron, 1956. Accessed through: World Register of Marine Species at: <http://www.marinespecies.org/aphia.php?p=taxdetails&id=224787>, on 2020-03-11.

### 表・図:

表は本文と別のファイルとしてエクセル等で作

成し、印刷時に折込みになるものや2ページ以上にわたるものは避ける。表には横線のみを入れ、縦線は入れない。

図は本誌の印刷紙面（20 cm × 13 cm）のサイズと比率を十分に考慮し、縮小されすぎないように、またスペースが無駄にならないように作成する。標本写真には図中にスケールを入れて示し、倍率では示さない。

図の解像度は、印刷時の大きさで、カラー（CMYK 推奨）およびグレースケールの場合は300~600 dpi、線画などの白黒2値（1ビット）の場合は800~1200 dpiとする。画像作成ソフトなどを使用して作成した場合、原稿が受理された後、オリジナルの形式（PSD、AI、PPTなど）、もしくは特殊な画像ソフトを使用した場合はTIFFあるいはJPEGの形式に変換したものを送ること。

表および図にはそれぞれ通し番号を記し、挿入する位置を原稿の余白に記入する。和文論文にあっても、表1、図2でなくTable 1、Fig. 2などを用い、本文中の引用もそれに従う。写真の集合がページ大になるときも図版（Plate）として論文の最後に置かず、本文中の適当な場所に置いてそれぞれの図に続き番号を付ける。一つの図がいくつかの部分からなる場合は大文字アルファベットのA、B、C等で区別する（小文字アルファベットやローマ数字を使用しない）。

図の説明は本文の最後に「図の説明 Figure legends」として取りまとめ、それぞれの図に説明文を貼りつける必要はない。図および表の説明は本文が英文の場合は英文のみ、本文が和文の場合、英文と和文を併記する。図中の略号の説明はアルファベット順とする。

#### 新タクサ（種など）の記載：

新種や新亜種を記載する場合、ホロタイプは博物館などの公共の研究施設に保管され、登録番号を与えられていなければ、原稿は受理されない。パラタイプやその他の証拠標本（例えばDNAを抽出した個体）も同様にすることを強く推奨する。また、記載にあたって、国際動物命名規約第4版（2012年9月改正版）を遵守すること。

また、ZooBankのLSIDの取得は論文の受理の後に編集委員会が行うため、著者自身が手続きする必要はない（著者自身で行うと、編集委員会で修

正などを行うことができなくなるため、むしろ不都合となる）。

#### 短 報：

速報の必要があるもの、あるいは原著論文とするには断片的だが報告に値する新知見を含んだもので、2段組で刷り上り4ページ以内程度の短い論文は短報として投稿できる。短報においては、英語論文ではAbstractは不要で、末尾に日本語要旨を付ける。日本語論文では英語のAbstractを本文の前に置く。テキストは簡潔にまとめ、ResultsとDiscussionは合わせてResults and Discussionとすることも可能。文献の引用形式は原著論文に準ずる。

#### 投稿原稿の取り扱い：

投稿された論文（原著論文および短報）の掲載の可否は2名以上の査読者の評価に基づき、編集委員会において決定される。VENUS掲載が不適当と認められた原稿は不採用理由を明示して通知する。原稿に訂正を要する箇所のある場合には投稿者に勧告し再考を求める。投稿者に返送された原稿が2ヶ月を超えてから再投稿された場合、原則として新たな投稿として扱われる。

#### 校 正：

著者校正の際に内容、体裁を著しく変更してはならない。校正は受け取ってから原則として2日以内に返送すること。かな遣い、綴りなど内容に立ち入らない程度の字句の加除訂正を編集委員会で行うことがある。

#### 別刷代その他：

原著論文や短報の組版・印刷費は学会が負担する。カラーページの印刷費は下記の通り著者に請求するが、編集委員会が必要と認めた場合は、全額または一部を学会が負担する。別刷は高解像度版のPDF、および希望があれば印刷版の50部までは無償で提供し、これを超える分は有償となる。原稿受理後に送付される投稿票にこれらの事項を記入の上返送すること。著者有償分の代金は以下の通り。

- ① 別刷代金：7円 × ページ数 × 部数
- ② カラーページ印刷費：ページ当たり 20,000円

**著作権：**

受理され、公表された出版物の著作権は学会に帰属する。報文は J-STAGE により提供される電子媒体として公開され、誰もが閲覧することができ

る。オープンアクセスポリシーはクリエイティブ・コモンズ (CC) ライセンス CC BY 4.0 に準拠する。

[最終改訂 2022.8.26]

## Instructions for submission of manuscripts to Venus

Manuscripts should be accurate, clear and concise and submitted in accordance with the standards set out below. To reduce editorial burden and costs of preparation it is strongly recommended that the most recent example of a related article published in this journal be consulted as a model for format and style.

### Composition of manuscripts

Manuscripts may be in English or Japanese.

- 1) Text should be in either Microsoft Word™ or Rich Text format.
- 2) Plates and figures may be collected in a PDF file or appended as images to the main text. Images should be no larger than 5 MB each but should not be compressed to a degree that would hinder review.

### Manuscripts

English text should be laid out in A4 page size with 3 cm margins all round and 1.5-line spacing. Organization should in general be: Title page, Abstract, Keywords, Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Acknowledgements, References; Figure captions. However, this scheme need not be strictly applied to short notes, purely taxonomic papers or other special cases.

It is requested that articles in English be corrected by a native speaker or language professional before submission.

### Fonts

English text should be set in Times New Roman in 12 points. Genus and species names should be italicized, together with Latin notation (*e.g.* “*et al.*”, “*etc.*”). In general, statistics and mathematical variables should also be italicized, though not regular notation such as SE or SD.

Small caps should not be used for authors' names (thus “Kuroda” not “KURODA”). Other formatting of references will be carried out by the editors.

### Title page

The title page should bear the manuscript title, authors' name(s) address(es) and institutional affiliation(s), as well as the email address of the corresponding author and the desired running title for page headers. The running title should express the general topic of the paper in ten words or less.

Titles should clearly indicate the specialized topic, target taxa, geographical area or other main points of the paper. Unless it is significant to a paper's subject it is not necessary to indicate the authorship or dates of scientific names in titles.

Under the authors' name(s) their institutional affiliation and/or address should be set in italic. In the case of multiple authors, each affiliation and address should be connected using superscript numbers. The email address of at least the corresponding author should be given.

### Abstract

The abstract should be on the page following the title page and comprise no more than 200 words. It should not indicate specific figures or references. A Japanese abstract of not more than one printed page should be appended after the References; this will be prepared by the editors for submissions by non-Japanese authors.

### Keywords

Following the Abstract, up to five English key words should be given that indicate the main points of the work. Long compounded phrases should be avoided.

### Main text

Citations in the main text should read *e.g.* (Kuroda, 1950; Habe, 1952; Kuroda & Habe, 1971) or Kuroda (1950). For citations with multiple authors, use “&” not “and”. Cite specific pages or figures using colons, *e.g.* Kuroda (1950: 106) or (Habe, 1952: pl. 1, fig. 8).

Localities within and around Japan should be

defined for non-Japanese readers by citing latitude and longitude or placing them with a broader area such as “northeastern Honshu” or “western coast of Kyushu” *etc.*

### Acknowledgements

The “Acknowledgements” section should be placed after the “Discussion” section.

### References

All cited works must be included in the references, but no others. Please check that all references are present before submission. For details of formatting, please consult a recent issue of this journal.

References should be arranged alphabetically by first author’s name. Multiple papers by the same author should be arranged chronologically with the earliest first, but the author’s name should not be abbreviated. Suffixes -a, -b, -c *etc.* should be used to distinguish papers by the same author published in the same year. Do not use “*ibid*” or other abbreviations even for papers published in the same journal issue.

Where a publication has more than ten authors, the first should be cited in the text with “*et al.*” but all should be listed in the References.

Journal titles should be set in italic and not abbreviated, *e.g.* *Bulletin of the National Museum of Nature and Science* and not *Bull. Natl. Mus. Nat. Sci.* Volume numbers should not be set in bold and individual issues should not be cited where pagination is continuous for the entire volume.

For publications that do not have volumes divided into numbers or for which each number has unique pagination, place the number in parentheses.

Unpaginated plates should be cited after pagination, thus: *Journal of Shells* 50: 345–349, pls 1–3.

For periods and commas, follow these examples:  
Kuroda, T. & Habe, T. 1954. New genera of Japanese marine gastropods. *Venus (Japanese Journal of Malacology)* 8: 84–97.

Citations of books and other stand-alone publications should give the pagination of the entire work and not just the cited section, *e.g.*:

Habe, T. 1977. *Systematics of Mollusca in Japan,*

*Bivalvia and Scaphopoda.* xiii + 372 pp. Zukan-no-Hokuryukan, Tokyo.

However, individual chapters of separate authorship within a compiled work should be cited using “*In*”, thus:

Morton, B., Prezant, R. S. & Wilson, B. 1998. Class Bivalvia. *In*: Beesley, P. L., Ross, G. J. B. & Wells, A. (eds), *Mollusca: The Southern Synthesis. Fauna of Australia. Vol. 5, part A*, pp. 605–638. CSIRO Publishing, Melbourne.

In citing an online publication, the URL used to access it should be given at the end of the citation together with the DOI if one is given, thus:

Wada, S. & Chiba, S. 2013. The dual protection of a micro land snail against a micro predatory snail. *PLoS ONE* 8 (1): e54123. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0054123>

Web pages should in general not be included in the references but cited directly in the text using the page title, URL and date of access, thus:

MolluscaBase. 2020. *Chrystella* Laseron, 1956. Accessed through: World Register of Marine Species at: <http://www.marinespecies.org/aphia.php?p=taxdetails&id=224787>, on 2020-03-11.

However, if the page provides a suggested citation for itself, that can be included in the References.

### Tables and figures

Tables may be prepared separately to the text using programs such as Microsoft Excel™. They should not be formatted as foldout inserts or occupy more than two pages. Only horizontal lines should be used, not verticals.

Figures and plates should be prepared with reference to the journal’s page size (20 × 13 cm). They should not require excessive shrinking nor contain wasted space. The size of specimens should be indicated using scale bars, not magnification ratios.

Color (CMYK mode is recommended) and grayscale images should be prepared at final size and between 300 and 600 dpi. Line figures should be in bitmap format and between 800–1200 dpi.

Following manuscript acceptance, images should be

sent at full resolution in a conventional format (PSD; TIFF; AI; PPT or JPEG).

Tables and figures should be numbered and their desired placement within the text indicated in the margin.

Full-page plates should not be placed at the end of the paper but inserted at a suitable point in the text and their figures included with others in the overall numbering sequence. Multiple views comprising a single figure should be suffixed with capital A, B, C *etc.* and not with lower case letters or Roman numerals.

Captions should be assembled at the end of the main text under the heading “Figure legends”. It is not necessary to append them to individual figures or plates.

Keys to symbols used in tables and figures should be in alphabetical order.

#### **New taxa**

For manuscripts describing new species or subspecies to be accepted, the holotypes must be lodged in a public museum or research institute and the relevant catalog numbers provided in the paper. It is also strongly recommended that paratypes and other cited material (such as vouchers for DNA sequences) also be deposited in public institutions. All taxonomic acts should conform to the International Code of Zoological Nomenclature (ICZN), 4<sup>th</sup> edition, revised version of September, 2012.

LSID codes will be acquired from ZooBank by the editors following manuscript acceptance and any required modifications. Authors should thus not obtain them in advance.

#### **Short notes**

Short pieces for which prompt publication is required, or that contain useful knowledge despite being fragmentary overall and that do not amount to more than four printed pages of two columns may be submitted as Short Notes. For those in English, an abstract is not required and a brief summary in Japanese should be attached at the end; this will be prepared by the editors for submissions by non-Japanese authors.

Text should be concise. The Results and Discussion

sections may be amalgamated under “Results and Discussion”. References should conform to the same format as for a full paper.

#### **Submission process**

Acceptance or rejection is based on appraisals by two or more reviewers selected by the editors. Submissions deemed unsuitable for the Venus will be returned with an explanation. If a manuscript requires revision, recommendations will be made for relevant modifications. If more than two months elapses before re-submission, a revised manuscript will generally be treated as a new work.

#### **Proofs**

Major modifications to content or format may not be made at the authors’ proof stage. Proofs should normally be checked and returned within two days. The editors reserve the right to correct inappropriate word spellings and usages through insertions or deletions.

#### **Reprints and color pages**

The costs of setting and printing articles and short notes will be borne by the Society. Authors are asked to assist with color printing expenses as set out below, but in cases where that is not possible part or all of the cost may be borne by the Society.

Reprints are offered as high-resolution PDF files or, if requested, up to fifty printed copies free of charge. Larger printed sets may be ordered at cost. Requests for reprints should be added when the authors’ proofs are returned. Costs for extra reprints are as follows:

1. Text: 7 yen per page, multiplied by the number of pages and number of copies desired
2. Color pages: 20,000 yen per page (flat fee; color pages are separate from the overall page count)

#### **Intellectual property rights**

Copyright of papers that have been accepted and published belongs to the Society. Notes and reports are published online with free access via J-STAGE. The open access policy conforms to Creative Commons license CC by 4.0.

[Last updated 26 August 2022]